

姉妹都市ニューポート市訪問滞在記 (前編)

アメリカの姉妹都市を訪問し、一生の思い出となったであろう中学生達の記録です。

旅程

- ニューポート市
- 7月12日(水)～15日(土)
- ・ニューポート市役所表敬訪問
- ・姉妹都市65周年記念式典
- ・ペリー提督墓前祭
- ・市民交流会
- ニューヨーク市
- 7月15日(土)～17日(月)
- ・ニューヨーク市立大学訪問
- ・タウンゼントハリス墓参



ニューポート市長と下田市長



ニューポート市議会



ニューポート市長との対話



タウンゼントハリス墓参

訪問目的

- 交流の再開
- 行政レベル、市民レベルの両方で友好を深める。
- 未来の国際人の育成
- 中学生が国際的視野を広げる経験。



ペリー提督の墓前にて



サマースクールでの和風・折り紙教室



ニューヨーク市立大学の学長と



ひと回り大きくなって帰ってきました!



さとみ ももこ
里見 桃子さん

今回の訪問で強く印象に残ったことは二つあります。一つ目は、英語に関わる仕事についてのです。ニューポート市との交流を通して、想像以上に外国と関わる仕事があることを知りました。例えば、近畿日本ツーリストのツアーコンダクターです。空港でトラブルがあった際、空港職員と英語で会話している姿が格好良く、また、私たちがニューポート市の方々と交流する際にはサポートをさせていただき、安心して話すことができました。

他にも現地のシテイコーデイネーターや外交官などの方々の姿を見て、英語で話ができることに憧れを持ちました。英語は得意ではなく、むしろ苦手意識のある教科でしたが、将来、外国の人と関わり、英語を話



つだ ももか
津田 萌々香さん

「今回の訪問の最大の目的は中学生の国際交流です。」松木市長の発言式の言葉です。その言葉と母からの「積極的に忘れないうえね」という二つの言葉を胸にアメリカ訪問に臨みました。

外国の方と英語で話すことに抵抗があり、初めは会話が続きませんでした。しかし、私たちが話しやすいような質問をたくさんしてくれたり、簡単な単語を選んで話したりしてくれました。

サマーキャンプの子どもたちにも折り紙を教える機会があり、少しでも文にした方が伝わりやすいのかなと思っていましたが、知っている単語をたくさん言ってみて相手にも伝えることができました。英語で会話することは貴重な経験でしたし、とても楽し



いっだ ちひろ
飯田 千禮さん

す機会がある職業に就きたいと思いました。

二つ目は文化の違いについてです。特に挨拶が印象に残りました。日本の挨拶は会釈ですが、アメリカでは一般的ですが、アメリカでは握手やハグでの挨拶が一般的なようでした。相手との距離が近く、とても素敵な文化だと感じました。また、日本は左側通行ですが、アメリカでは右側通行であるため、非常に違和感を覚えました。

今回の訪問では、沢山の人の関わり、沢山の経験をさせていただきました。振り返ると、自分が伝えたいと思ったことをうまく表現できなかったことがありました。

授業として覚える英語だけではなく、外国の方ともしっかりとコミュニケーションを取ることのできる英語を身に付けて行きたいと思っています。

初日はニューヨークからニューポートへの移動でした。地図で見ると近く感じても、実際に移動してみると四時間半くらいかかりました。

ニューポートへ着くとすぐに歓迎パーティーが開かれ、ペリー提督の子孫など、下田と縁のある方が参加していました。ジェスチャーや日本語を交えながら話してくれたので、なんとなく内容を理解することができました。その後、市役所に移動し、議会を見ました。議員と市民が直接話し合いをしていて、日本との仕組みの違いを発見できました。

二日目はニューポートにある公園、トーローパークにて開催された、姉妹都市六十五周年式典に参加しました。公園にはペリー提督の像がありました。周りには桜の木が植

